

議会報告



第410号

日本共産党逗子市議会議員団

発行2006年1月 「逗子民報」議会報告版

市役所 873-1111 (控室内線416) 事務所 沼間2-15-4 871-1321

今回で一般質問は終了、両議員は4年間で24回、24時間となります。



市議会議員

岩室 年治



市議会議員

橋爪 明子

第4回定例会(12月議会)は、11月24日から12月9日の16日間としましたが、市長が記者会見後に住民投票条例の一部(成立要件4分の1 3分の1)を変更、さらに議案の過ちもあって差し替えもあり、13日まで延長されました。補正予算等は全会一致可決、機構改革は否決(日本共産党は賛成)されました。

市民参加条例可決

賛成 日本共産党、政風会、公明党、新世紀
市政倶楽部、会派21世紀、社民党、
反対 次世代フォーラム
市民自治の会、森

市民参加条例は、平成15年度と16年度にかけて検討委員会等を設置。17年3月「報告書」が提出され、パブリックコメント後、議会に提案。次世代の修正案は根拠もなく「前文」を変える内容で否決されました。日本共産党は、原案に賛成の立場から「議会の役割」規定を加える修正を提案。残念ながら否決。その後の表決では原案に賛成しました。



常設型の住民投票条例 制定に向け各会派が調整へ

日本共産党は、住民投票条例の修正案(右表)を準備していましたが、保守系会派から慎重な審議を求める意見が出され、継続に同意。2月議会で制定をめざし、各会派との調整協議が行われることとなります。

次世代・21世紀案は、投票結果の尊重義務要件が極めて高く、実際の住民投票の成立は困難と見られます。又、市長と議会それぞれの権限で個別に条例を制定した場合、成立要件が違う条例もできることとなります。

日本共産党案は、直接請求の50分の1(約1千人)と比較しても、市長案より要件を低く設定。市民の市政参画をめざします。

日本共産党も修正案を準備、 2月議会の制定へ全力

投票資格者は52200人(16才以上等を含む)

	市長案	日本共産党案	次世代 会派21世紀案
市長提案	無条件実施	審査会諮問	× 市長を除外
議会提案	2名連名 議会過半数	2名連名 議会過半数	× 議会を除外
市民提案 署名数	投票資格者 の1/5以上 約10440人	投票資格者 の1/6以上 約8700人	投票資格者 の1/5以上 約10440人
成立要件 の投票数	投票資格者 の1/3以上 約17400人	投票資格者 の1/4以上 約13050人	無し 但し、尊重義務要件が高い
投票結果 尊重義務 要件	投票数の 過半数以上	投票数の 過半数以上	賛否いずれかが投票資格者 の1/3以上必要 約17400人

ハイランド 公道掘削事件

市が悪質な事業者を道路法違反で告発 議会も法的措置を求める決議



違法掘削現場

久木ハイランドの公道(赤道)で、市民からは巡礼古道として親しまれてきた道が、不法に掘削された事件で市当局は道路法違反で告発。最近も現地前面の公道が、不法掘削され告発したばかりでした。

市長へ告発すべきと要求

日本共産党は、掘削直後に市当局に速やかな対応を求め、市長に対し、悪質な事業者を告発するように求めました。また、他会派に呼びかけて、悪質な事業者に抗議し、

法的措置を求める内容の決議を提案し、全会一致可決(次世代と21世紀が各1名退席)させてきました。一連の問題では右翼団体が市民や職員へ圧力を加える事態もあり、市長・市民・議会が一致して悪質業者に毅然と立ち向かうことが必要です。

日本共産党は参考人、証人喚問を要求 委員会は開催すら見送り。議会の役割は?

日本共産党は、建設環境常任委員会の森典子委員長に対し、所管事務調査の実施と参考人又は証人喚問を行うように申し入れました。ところが、委員会は、逆に調査しないことを決定する事態となっています。耐震偽装問題など企業の利益追求の結果、法を無視する違法行為が横行している中で、委員会は問題を見逃すのでしょうか。この問題は住民監査請求も出され、市民の関心が高いだけに委員会の対応に疑問の声があがっています。

所管事務調査(地方自治法109条)委員会が決議すれば条例等議案、行政事務の調査を実施することができる。
100条調査権(地方自治法100条)行政事務の調査で、関係人の出頭及び証言等を請求できる。

補正予算は全会一致可決

学校と保護者の要求に応じて 老朽校舎の緊急補修へ

学校の老朽化に伴い、雨漏りなど改修が急がれていた学校施設への補修工事費などが予算化されました。日本共産党が議員報酬引下げ部分を活用した予算措置を要求してきたものです。まだ十分でなく、当初予算の確保を要求していきます。

逗子小教室不足、児童数増と学区希望制で

教育委員会は、戸建住宅も増え、児童数増減は予想外と説明、補正予算化しました。但し、学区希望制の枠を加えなければ定数内です。教室(発泡スチロール壁)の問題点もあって苦慮中。問題に対する早急な再検討が必要となっています。

古墳の公有化

国指定史跡長柄桜山古墳群が葉山も含め公有化されました。

蘆花公園整備と脇村邸保存へ

旧脇村邸の保存を望む市民からも陳情が提出され、議会も了承。市は保存の手法を検討中でしたが、取得し、蘆花記念公園と一体化して都市計画法に基づく整備のため予算化しました。

文教ゾーン生涯学習棟入札不調 遅れる工期で学校教育に影響も

文教ゾーン整備の生涯学習棟(予定価格8億2410万円)の入札が2度も不調になり、応札希望業者が辞退を繰り返し、大幅に工期が遅れる見通です。市は1月中には再入札を実施します。教育現場への影響からも早期着工が必要です。

JR逗子駅 エレベーター等工事着工へ

総事業費の増額が発生、但しJR側が負担。工事着工の見通しが立ち、駅前改良計画も18年度予算化することを明らかにしました。

池子の森

キャンプ場の市民開放を 自然観察など学校教育にも

私たち市民は、池子の森、自然の恵みを楽しんで暮らしていますが、実際には自由に森（基地）に足を踏み入れる機会はありません。日本共産党はキャンプ施設の市民開放と学校教育の活用を求め、市長と教育委員会から米軍に要請し、実現に努力したいと意向が示されました。（現在、一部団体に親善交流を前提に利用が認められています）

池子の森裁判 12月14日第6回口頭弁論で裁判長は、逗子市が求めた証人尋問（沢元市長ら）を採用せず弁論を終結。3月22日判決を下す考えを示しました。市は「三者合意が法的行為であり、国が順守すべき義務を負っている」として実質審理入りを求め、国は市側の主張が法律上の争いに当たらないとして訴えの却下又は棄却するように求めてきました。裁判長が3人も交代する異例の裁判で、予断を許さない状況です。米兵犯罪は許せません！空母乗組員による女性殺害事件、ひき逃げ事件相次ぐ。

病院誘致公募へ

日本共産党 医師会と地元の協力なしに 誘致問題の解決はない、市長の努力を求める

総合的病院誘致促進（機能検討）市民協議会は、市長へ提出した「報告書」を差し戻し、運営問題で前会長への解任決議で混乱、協議が遅れていましたが、新会長に河田昶臣氏を選出。進出病院の公募時期（2月1日～5月末）、小児科、救急と外来機能等検討を行ない、1月中に市長へ報告する予定です。

深夜花火禁止条例、地元住民からの陳情 騒音規制の条例求める陳情



海岸線の道路脇の掲示板（鎌倉市）

逗子海岸の青い海は、市民にとって誇れる、また、安らぎを与える場でありながら、最近、海水浴場開設時期に起きている深夜花火やライブ騒音は、周辺住民の環境悪化を招き、苦情が多数寄せられています。日本共産党は、陳情の了承と条例制定を求め、市長も条例の検討を約束しました。

議会が判断を約1年棚上げしていることでは、任期満了で廃案にされる恐れも生まれています。

継続を主張する会派
次世代フォーラム・政風会・公明党・市民自治の会・新世紀

継続審査 市民からなぜの声？



日本共産党 条例と対策強化、静かな夜を求める

国民いじめの改革 基地押し付け

NO

日本共産党が準備した意見書等4件（～、～）と「陳情」了承に伴う意見書が可決されました。税各種控除縮小反対（サラリーマン増税）、原子力空母配備合意撤回と基地強化反対。県医療費助成の補助率引下げ反対。障害自立支援法見直し。義務教育費国庫負担制度の維持。遺伝子組み換え作物の栽培規制。議会制度改革の早期実現。不法掘削問題の抗議決議。

ごみ処理の広域連合設立断念 鎌倉市との協議検討へ

4市1町（逗子・鎌倉・横須賀・三浦・葉山）の首長会議が12月26日開かれ、ごみ処理広域連合設立の「覚書」の合意を解除、断念を公表。同時に、2グループに分かれ、逗子市は、鎌倉市と協力して検討する方向が明らかにされました。日本共産党は、今後の検討でも財政負担と環境負荷など市民への情報共有を求めていきます。

笑顔と元気いっぱいの子どもたち、子育てを応援する市政を

小児医療費無料化の拡充を 35%除外？全員を対象に

小児医療費無料化制度は、藤沢市などが対象世帯の所得制限を撤廃し、全世帯対象となっています。本市でも実現を迫りましたが、市は「財政状況を見定めたい」として撤廃は難しいとしました。



児童扶養手当支給されない 父子家庭に支援制度を

児童扶養手当は母子家庭に経済的支援として支給。但し、同所得の父子家庭には支給されない問題があり、支援制度を求めましたが、答弁は「今後の検討課題」にとどまりました。

障害者、高齢者にやさしい安心できる市政を

障害者自立支援法で7割が負担増 自己負担に対する軽減策を

障害者の7割が、これまでの無料から月額4万2千円も負担が増やされ、その軽減策を求めました。市はサービス低下のないよう努め、近隣の動向を見据えたいという答弁にとどまりました。

ダイヤモンド交通（乗合タクシー） 高齢者にはドア・ツー・ドア

ダイヤモンド交通は高齢者・障害者・妊婦の移動手段で1回300円程度、18年度から小坪・沼間から予定。玄関までの送迎を求め、市は基本的に可能であり、今後は地域拡大も検討中と答弁。

みどりは逗子の財産、景観と緑地保全をすすめる市政を

鳴鶴の景観は市民共有の財産 みどり基金活用で計画見直し保全を

逗子海岸から葉山鐙摺にかけて、緑の稜線は景観上失うことができないものです。現開発計画は過去に手続が終了し、斜面を切り崩すものです。基金による一部取得で計画を縮小させ、保全を求めましたが市の明確な答弁はありませんでした。

久木6丁目のみどり保全の道 一日早く市民の森契約を

予定地西側半分が市に寄附され、残る東側緑地について、市と所有する企業との「市民の森契約」が遅れていることを質し、早急な締結を求めました。市は平成18年4月から賃貸契約で合意していることを明らかにしました。



新宿会館隣接地の有効活用を 駐在所移転と公園化

新宿会館に隣接する市有地へ駐在所移転の要望があることから、移転と公園化、海岸利用の自転車駐輪スペースなどの実現を求めました。市長は（移転した場合）「治安上も適切だと考える」と答弁。警察の協議もあることからポケットパークとあわせて庁内で検討することを約束。引き続き要求していきます。